

BSOの 情報てんこもり

2016年 4月28日号

制作・発行：(株)BSO 支援企画部

TEL：(06)6351-5836

～ タイムリーな情報を、いち早く皆様にお知らせします ～

◆新事業開発研究会～シリーズ第1回～

現代の経営は、過去の延長で考えず、根本的に変わってきているものをとらえ、これからの時代を逆算方式で考える必要があります。また非可逆的な構造変化であり、繰り返して起こる変化ではなく、全く新しい形の概念で変化が起こっています。

新事業の必要性 今の事業は縮小ではなく、衰退していています。簡単に言うと今の事業は無くなります。要は、コスト競争、納期競争、品質競争など、いわゆる管理競争で生きていける保証はありません。今までの改良の延長では生きていけません。また、企業を永續させるための要件として、新時代に求められる事業を営むことが必須要件であり、時代に求められているかどうかが問題です。そして、社会と共栄して共存する事業が存続の条件です。ビジネスの根底は社会や時代に求められない限り、ビジネスとしては成り立たちません。それが基本的な姿勢ではないでしょうか。

●**ビジネスモデル概要** (シリーズで毎回紹介していきます)

水処理ビジネス

- ・ベトナムで一番古い水処理メーカーと一緒に取り組む
- ・日本の水処理技術とコラボレーションしたい
- ・東南アジアは水処理会社、機関が少ない。絶好のチャンスであるベトナム「175病院」支援

- ・ホーチミンにある国防省の病院で、総建替え中(22床)
- ・ベトナムから日本へ医療人材の留学、日本の医療サービスの在り方、医療機関での仕事の仕方などの研修サポートを行っている
- ・介護老人ホーム、リハビリセンターを日本方式でつくり(3床)、日本の施設とタイアップして造りたい
- ・敷地内にジャパニッククリニックを併設、日本医師を派遣、ベトナムの若手医師を教育し人材のレベルアップを進めたい

日本語教材開発販売

- ・ベトナム(海外向け) 職場で役立つ日本語教材を開発、販売したい

《次回》

日時：2016年5月17日(火) 14:00～17:00

場所：BSO大阪

テーマ：

毎月の例会にて、次回の具体化する2～3のビジネスモデルを設定します

1. 具体化ビジネスモデルの検討の予定

- 1) 日本語自己学習ツールの開発
- 2) 診療カルテ入力事業
- 3) 三世代社会づくり(予備)

*毎月2モデルを検討しますが、時間があれば3モデルについても検討します。

◆KYODO/BSO展示場開設のお知らせ

ベトナムの経営者レベルの人達が頻繁に出入りするベトナム商工会議所(VCCI)のエントランスフロアにKYODO/BSOが同ビル8Fから移動する予定です。



(VCCIビル受付カウンター)

事務所には新たに展示場を併設し、常時日本の商品及びサービスを展示し、出来るものから輸入許可をとって販売実験も行っていきます。主目的は日越のビジネスマッチングの相談に対応する仕事です。また、日本へのビジネス視察団の相談も請負い、定例・不定期の交流会、研究会、研修会をさらに充実させて行う予定です。今後は日越ビジネスマッチングを、より迅速かつ有効に進めます。

◆ベトナムでの連絡オフィス代行事業開始

日本企業のベトナム連絡オフィスの代行事業をKYODO/BSOが行います。オフィスは、ホーチミンの新オフィス：VCCIエントランスフロアです。半年単位での契約となります。詳細につきましてはBSO大阪までお問合せください。

◆コミュニケーションの技術

産業界でのコミュニケーションの機能は、以下の2点になります。

- ①話す相手に自分の意図していることを伝えること
- ②話し相手が意図していることを理解し、相手が満足するように対処する

コミュニケーションの主な場面は「指示命令、復唱、相連報、返事、交渉、説得、雑談」などです。コミュニケーションの2つの機能を前提にして、その時その時の具体的な目的があります。そして、相手と話す場面を考慮して、コミュニケーションの2つの機能を満足させ、具体的な目的を果たすためにストーリーを組み立てます。

(西山)

詳しい記事やその他の情報は、BSOのホームページ <http://www.bso.co.jp> へ

情報てんこもりは、弊社の協働活動(受託事業・企画事業・出版事業)のタイムリーな情報をいち早く多くの方々を知っていただく為に発信しております。(お問い合わせはshienkikaku@bso.co.jpまで)

